



# 北迫村に広野町立つ

「広野」の地名は、天正十年（一五八二年）岩城常隆統治の際「北迫村に広野町立つ」とあるのが最初とされていますが、寛文十年（一六六九年）に書かれた『磐城風土記』では、磐城城下から久之浜・広野・木戸・富岡を経て相馬に通じる「相馬路」の宿駅で、「広野宿」が設けられ「広野」の地名が登場します。

